

## 会 議 録 (要旨)

会議の名称	令和5年度 第6回 小平市こだいら観光まちづくり振興プラン検討委員会
開催日時	令和6年2月14日(水曜日) 午後3時00分から午後4時15分
開催場所	市役所5階 503会議室
出席者	委員10名(うち公募委員5名) 欠席4名 傍聴者0名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆資料1 小平市こだいら観光まちづくり振興プラン検討委員会委員名簿</li> <li>◆資料2 第5回小平市こだいら観光まちづくり振興プラン検討委員会議事録</li> <li>◆資料3 第二次小平市観光まちづくり振興プラン(素案)に対する市民意見公募(パブリックコメント)の結果について</li> <li>◆資料4 第二次小平市観光まちづくり振興プラン(案)</li> </ul>
説明事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第5回小平市こだいら観光まちづくり振興プラン検討委員会要旨について</li> <li>2. 第二次小平市観光まちづくり振興プラン(素案)に対する市民意見公募手続きの実施結果について</li> <li>3. 第二次小平市観光まちづくり振興プラン(案)について</li> <li>4. 事務連絡</li> </ol>

● 会議事項

1. 第5回小平市こだいら観光まちづくり振興プラン検討委員会要旨について	
発言者	会議内容
【事務局】	◆資料説明：「第5回小平市こだいら観光まちづくり振興プラン検討委員会議事録」【資料2】
委員長	・前回の会議では2つのグループに分かれキャッチフレーズを考えたが、このふらっと小平東京プチ田舎というキャッチフレーズはどのような形で公表されるのか。
事務局	・パブリックコメントを募集した時点で一般市民の目に触れる形にしているが、実際ほとんどの市民は見えていないという状況にあるため、今後プランを発行し、どこでも見られるような形にして、マスコミ等に発表していく。

2. 第二次小平市観光まちづくり振興プラン（素案）に対する市民意見公募手続きの実施結果について	
発言者	会議内容
【事務局】	◆資料説明：「第二次小平市観光まちづくり振興プラン（素案）に対する市民意見公募手続きの実施結果について」【資料3】
委員長	・何人から意見があったのか。
事務局	・4人である。
委員長	・トイレ掃除のマッチングアプリというのは、実際に事例があるのか。
事務局	・ない。配送業等のアプリを運用すれば出来ると思うが、ポイントがもらえるからという理由で「トイレ掃除をしたい」と、近隣住民の方が待たせようか。待たないと思うので、難しいと考える。
委員	・各自治体で少しずつ始まっているデジタル地域通貨は活動をすると思われ、既存大手の通貨と同じように使える。渋谷区ではハチペイという形で運用されている。これからもそういった活動は広がっていくかもしれない。
委員	・シルバー人材センターの仕事とは関係なく、登録すれば参加出来るのか。
事務局	・現状ではシルバー人材センターに賃金を支払ってお願いしているので、そのような方々の仕事を取り上げる結果になってしまうかもしれない。

## 2. 第二次小平市観光まちづくり振興プラン（素案）に対する市民意見公募手続きの実施結果について

発 言 者	会 議 内 容
	<p>配送業等のアプリの仕組みになると、若い世代も登録してくれるかもしれないが、職業にはならないので、そのあたりはどうなのかと思う。</p> <p>東村山市では志村けんにちなんでアインペイが12月から開始したが、今のところ、使える場所が300ヶ所程度しかなく、東村山市でしか利用できない。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発展途上であるが、可能性はまだまだあるかもしれない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンドの対応は何かしているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の前になるが米国籍の専門員を雇って、市内の飲食店等で外国語メニューの対応が出来るようにしたり、市が発行するガイドブックを英語版に訳したりしていたが、コロナ禍以降は、今のところはない状況である。</li> <li>・コロナ禍の前に、海外の方々を実際に呼んで、市内の観光地を巡ってもらったが、一番人気はブルーベリーの摘取りであった。収穫体験にはかなり興味を示していた。モノ消費よりコト消費の方が人気であった。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の観光客と変わりはないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小平に観光に来る方は、世代によって偏りがあり、年齢層が上がるにつれグリーンロードを散歩したいという方が非常に多い傾向がある。若い方はグリーンロードに興味を示さない人も多いが、そういう方は収穫体験等、体験型へ行く。様々なことに対応できるのが小平市である。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客とは異なるかもしれないが、大学が多いので海外から研究者や学生が来ることが多い。そのときにどこを案内するかが課題である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小平市の場合は外国人の住民数が比較的多いため、VFRという友達や関係者に会いに来る目的の方が多い。個人旅行の形が多いため、どこを周っているのか把握しにくい。以前、国際交流協会と観光まちづくり協会で、外国人向けの小平ツアーを何回か行った。その人達が、知人が来た時にも小平を案内できるようにというのもあった。また、再開させてもいいのではないかと思います。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりと連携する形でいえば、例えば、私が関わっている世田谷のケー</li> </ul>

## 2. 第二次小平市観光まちづくり振興プラン（素案）に対する市民意見公募手続きの実施結果について

発言者	会議内容
事務局	<p>スは、防災まちづくりの歴史が長く、地震が起きたときに火事が起こりやすい場所が何箇所かある。そこでは、特徴的なまちづくり活動をしていて、最近台湾や中国等のアジアの学生が、大学の先生と一緒に見学に来ることが多い。現在は展覧会も行われているため、海外からの学生が多く来ている。観光にも様々な視点があり、様々な場所で頑張っているところも小平にはあると思うので、発信が出来ればいい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こだいら観光まちづくり協会で、人を呼ぶ新たな手法として、桜や紅葉のライトアップを行っている。「小平市がお洒落なことをするとは、今まで知らなかった」というメールをいただいた。新たな視点で人を呼ぶということを協会にしてもらっているため、恒常的に見られる観光地というのは、小平市には確かにないが、期間限定で人を呼べる素材になるとみている。</li> </ul>

## 3. 第二次小平市観光まちづくり振興プラン（案）について

発言者	会議内容
【事務局】	◆資料説明：「第二次小平市観光まちづくり振興プラン（案）」【資料4】
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感想として、13ページの調査の概要で、3つの調査を表示したことにより、内容がとても分かりやすくなった。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 38ページについて、文化スポーツ課を担当課に追加したとの説明があったが、具体的にどのような役割や連携を想定しているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 齋藤素巖のブロンズ像について、毎年定期的に学芸員が清掃を行っている。その学芸員は文化スポーツ課に所属し、スケジュール調整等で連携している。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 32ページの体系図について、アクションプランが番号だけになっており、プランの名前が入っていないので分かりにくい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の計画には絵がたくさん入っていたが、今回は絵やコラムは削ってしまうのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討する。挿入できるような写真が少ないため、これからは季節毎の写真等</li> </ul>

### 3. 第二次小平市観光まちづくり振興プラン（案）について

発 言 者	会 議 内 容
	撮るようには是正する。
委員長	・見たこともない人にイメージを伝えるには、写真や絵はあった方が分かりやすいので検討してほしい。
委員	・フォントや表紙はこのままなのか。
事務局	・表紙は前回は踏襲する形になる。庁議で指摘されたのは、市の刊行物として書体を揃えるようにとのことだったので、書体はMS 明朝になる予定である。
委員	・今使うならユニバーサルフォントになるのではないかと。
事務局	・確認する。
委員長	・観光まちづくりは市民の方達と一緒に進めていくことが謳われているため、計画自体も見てもらいやすいように工夫することが必要なもので、検討してほしい。 観光まちづくり協会では、計画をどのように活用しているのか。
委員	・この計画を羅針盤のように使っていく。事業計画を立てる際には計画と絡めたり、年度計画を立てる際には、重点的にやりたいことの指針とする。その取組がプランのどこに紐づいてくるのかということを見立てて行っている。
委員長	・鉄道事業者はどうか。
委員	・プラン 16・17・22 は産業振興課の範疇だと思うが、歴史的建造物・文化的遺産に対してのプランが出来上がった。1年に1回、来年度1月に向けて、申し出ただけであれば、300万円が上限で修復や設置・作成等の金銭的な支援を行うツールによって支援できる。例えば、プラン 17 の観光案内板の設置で、多言語の表記を条件として作成費用を支援したりできる。今後は、計画を推進するにあたって別途相談してもらえればと思っている。改めて資料は配布する。
事務局	・有難い申し出である。例えばプラン 22 のストーリー性を持った歴史的景観のPRについても、新小平駅の近くに鎌倉街道というのがあり、なぜ小平市内に鎌倉街道があるのか不思議に思う方もいる。そこに鎌倉街道についての説明

### 3. 第二次小平市観光まちづくり振興プラン（案）について

発 言 者	会 議 内 容
	<p>の案内板があれば、興味を持ってもらえると思うので、そういった事業はぜひ活用させていただきたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸地の修復事業についても支援させていただければと思っている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西武鉄道はどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の計画では、より精度の高いものとして見える化していただけたため、我々としても施策を打つ際に、エリアに近いものがあれば、お声がけをしながら出来るものもあると思う。社内の話にはなるが、事業創造部といって沿線価値を高めるために動いている部署もあり、まさに観光まちづくりに近いことをやっているの、沿線の小平市が盛り上がると、我々としてもプラスにもなるので、相談させていただきながらやっていきたいと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西武線は特に車窓から見える景色がたくさんあるので、いいプランが出来ればと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶるべーもクラウドファンディングが成功して、着ぐるみも完成して間もなく納品となる。今まではビニール製であったが、新しいものはボア生地になるので質感が異なる。機会があれば見ていただきたい。クラウドファンディングは有難いことに、130万円集まり、ぶるべーに人気があったと改めて感じている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コダレンジャーは変えないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コダレンジャーは今まで市外で活動したことがなかったが、昨年多摩移管130周年記念として立川でイベントを行った際にコダレンジャーが出演したが、人だかりが出来るほど人気があることがわかった。検討する。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都庁に観光PRをするブースがあり、1月20日にコダレンジャーのマネキン3体がポーズをとって立っている期間があった。また、コダレンジャーのショーをDVDで流していた。私も見に行ったが、特に外国人の方に人気があった。市内のイベントにはかなり声をかけていただいて、出演している。学校の総合的な学習の時間に呼ばれて、PRする機会等もある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一昨年くらいから、ぶるべーを企業のツール等に使用してほしいという申請が多い。今までは年間6件程度だったが、昨年は何十件もいただき、認知度</li> </ul>

3. 第二次小平市観光まちづくり振興プラン（案）について	
発言者	会議内容
委員	<p>自体は上がっている。ぬいぐるみも 2,000 円で販売している。コダレンジャーについても、警察の標識に使われている。公園の掲示看板についても使いたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人は日本のアニメに興味があるようだが、小平市に漫画家はいないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・某少年漫画雑誌で連載していた作者が小平市にいたので、ぜひ小平を題材にしたものを描いてもらいたいとは思っている。「こだたん」という小平の偉人が漫画になっているものが出ている。また再来週から「秋山ロケの地図」という番組で小平が特集される。</li> </ul>

4. 事務連絡	
発言者	会議内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月中にこの内容を議会にあげ、3月下旬に振興プランとパブリックコメントを公表する。検討委員として皆様の名前が振興プランの最後に掲載される。現行の振興プランに載っている形式の名簿がつく。市政資料コーナーで販売もする予定である。概要版も作成する。</li> </ul>